

第 1 節

北海道総合通信局

第 1 節 北海道総合通信局

§ 3－1－1 770MHz 以下の周波数の利用状況の概況【北海道】

770MHz 以下の周波数を利用する無線局について、電波の利用状況調査結果に基づき、周波数の利用状況を集計・分析した。

(1) 主な概要【北海道】

管轄地域の都道府県	北海道
管轄地域内の無線局数（対全国比） ^(注1)	28.2 万局（8.4%）
管轄地域内の免許人数（対全国比） ^(注1)	146.9 千人（8.9%）
（参考）管轄地域内の人口（対全国比） ^(注2)	557.0 万人（4.4%）

（注1）770MHz 以下の周波数を利用しているもの。

複数の周波数区分を利用している無線局・免許人は、当該複数分をカウントしているため、実際の無線局数・免許人数より多い。

（注2）平成 19 年 10 月 1 日現在 資料：総務省統計局「第五十八回 日本統計年鑑 平成 21 年」

(2) 770MHz 以下の周波数の利用状況の概要【北海道】

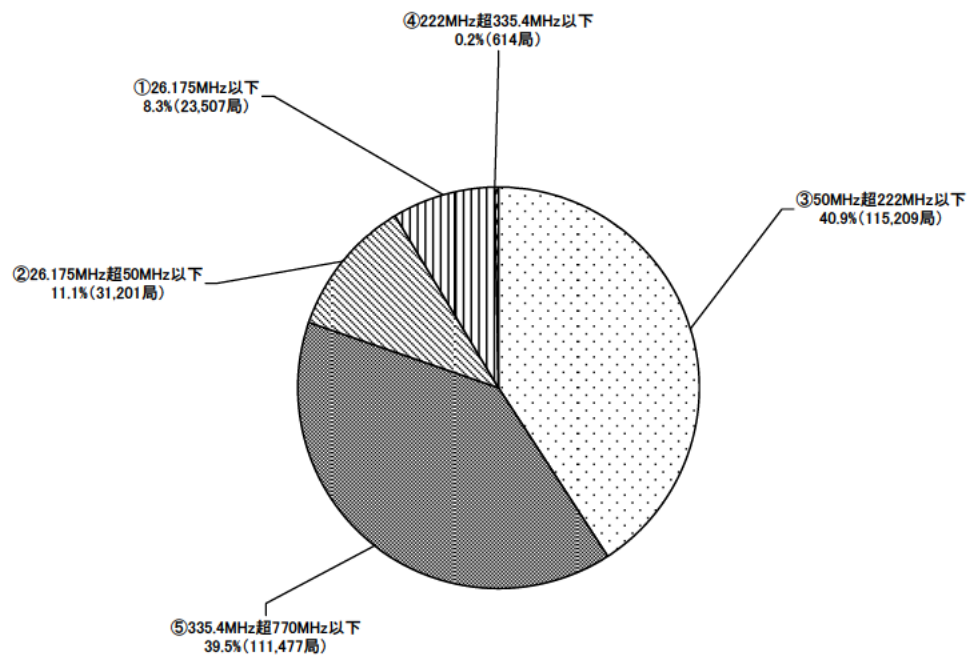
「周波数区分別の無線局数の割合及び局数」及び「周波数区分ごとの無線局数の割合」に係る集計結果は、次のとおりである。

各周波数区分別の無線局分布をみると、③50MHz 超 222MHz 以下（115,209 局）及び⑤335.4MHz 超 770MHz 以下（111,477 局）の 2 つの周波数区分に無線局数が集中している。④222MHz 超 335.4MHz 以下の周波数区分の無線局数が極端に少ない理由は、当該周波数区分にアマチュア局が存在しないためである。

各総合通信局管内における無線局数については、関東管内が 874,711 局と全体の 26.0%を占めており、近畿管内が 427,061 局（12.7%）、東海管内が 396,536 局（11.8%）と続いている。一方、沖縄管内が 23,976 局（0.7%）と最も少なくなっている。

平成 17 年度調査による無線局数と今回の調査の無線局数を比較すると全国的に無線局数は減少傾向にあるが、これはアマチュア局の減少が大きいためである。アマチュア局を除けば、関東管内は 53,247 局（12.4%）、近畿管内は 11,832 局（5.3%）、東海管内は 5,314 局（2.9%）それぞれ増加、九州管内では 12,425 局（6.0%）、東北管内では 11,905 局（5.7%）それぞれ減少しており、地域的に偏在はあるものの、全体としてはほぼ横ばいの状況にある。

図表－１－１－１ 周波数区分ごとの無線局数の割合及び局数【北海道】



* 複数の周波数を具備する無線局は、周波数区分毎にカウントしている。

図表－１－１－２ 周波数区分ごとの無線局数の割合【北海道】

		①26.175MHz以下	②26.175MHz超 50MHz以下	③50MHz超 222MHz以下	④222MHz超 335.4MHz以下	⑤335.4MHz超 770MHz以下
各周波数区分・電波利用システムグループごとの無線局数の割合	陸上・防災	－	－	3.2%	89.6%	4.4%
	陸上・自営(主に公共分野)	－	0.0%	27.0%	－	11.5%
	陸上・自営(公共分野以外)	－	0.2%	11.0%	－	19.3%
	陸上・電気通信業務	－	－	0.1%	－	0.0%
	陸上・放送	0.3%	－	0.3%	－	1.3%
	陸上・放送事業	－	0.1%	0.4%	－	0.2%
	海上・船舶通信	1.8%	22.4%	3.4%	－	1.1%
	海上・測位	0.9%	0.0%	－	－	－
	航空・航空通信	－	－	1.0%	8.5%	0.3%
	航空・測位	0.0%	－	0.0%	1.8%	－
	衛星・電気通信業務	－	－	－	－	－
	陸上・その他※	91.8%	77.1%	53.0%	－	61.0%
	海上・その他	－	0.1%	0.4%	－	0.4%
	航空・その他	－	0.0%	－	－	0.0%
	衛星・その他	－	－	－	－	0.0%
	その他・その他	5.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
合計		100%	100%	100%	100%	100%
各周波数区分ごとの無線局数の割合		8.3%	11.1%	40.9%	0.2%	39.5%

※ 「陸上・その他」のうちアマチュア局が占める割合は次の通り。

①26.175MHz以下：99.9%、②26.175MHz超50MHz以下：100.0%、③50MHz超222MHz以下：72.0%、⑤335.4MHz超770MHz以下：62.2%

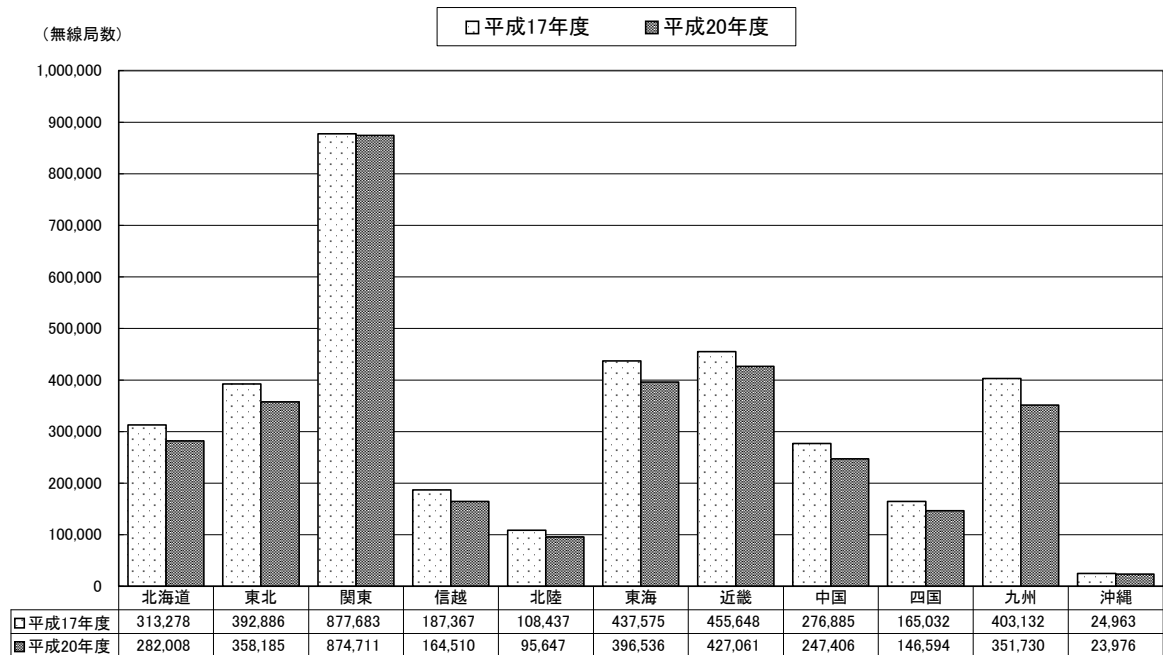
*1 「－」と表示されている場合は、該当システムが存在しないことを示す。

*2 0.05%未満については、0.0%と表示している。

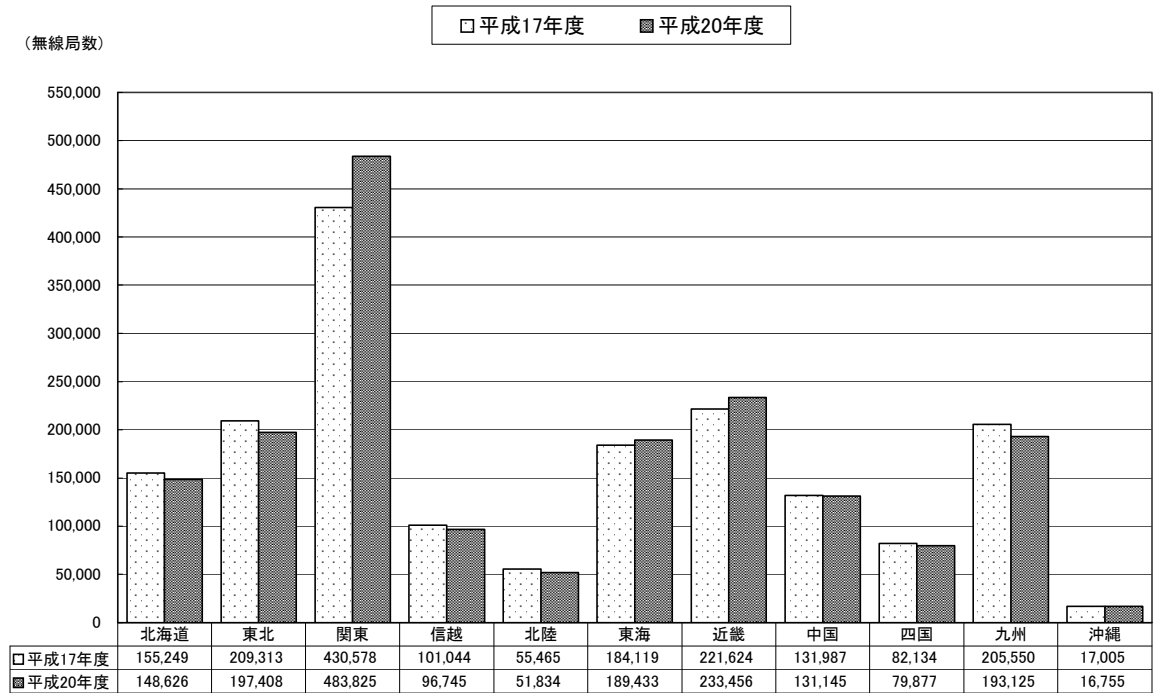
*3 複数の電波利用システムグループに属する無線局は、それぞれにカウントしている。

*4 複数の周波数を具備する無線局は、周波数区分毎にカウントしている。

図表－１－１－３ 770MHz 以下の無線局数の推移（各総合通信局の比較）



図表－１－１－４ 770MHz 以下の無線局数の推移（各総合通信局の比較・アマチュア局を除く）



図表－１－１－５ 単位人口・単位面積あたりの 770MHz 以下の無線局数の割合（各総合通信局の比較）

総合通信局別	無線局数		人口(万人)		1万人当たりの無線局数		面積(km ²)	1km ² 当たりの無線局数	
	平成17年度	平成20年度	平成17年度	平成20年度	平成17年度	平成20年度		平成17年度	平成20年度
北海道	313,278	282,008	562.8	557.0	556.6	506.3	83,456	3.75	3.38
東北	392,886	358,185	963.5	950.4	407.8	376.9	64,902	6.05	5.52
関東	877,683	874,711	4238.0	4270.2	207.1	204.8	36,626	23.96	23.88
信越	187,367	164,510	462.7	458.5	404.9	358.8	24,908	7.52	6.60
北陸	108,437	95,647	310.8	309.2	348.9	309.3	10,420	10.41	9.18
東海	437,575	396,536	1502.1	1514.1	291.3	261.9	28,039	15.61	14.14
近畿	455,648	427,061	2089.3	2086.1	218.1	204.7	27,091	16.82	15.76
中国	276,885	247,406	767.6	763.1	360.7	324.2	31,817	8.70	7.78
四国	165,032	146,594	408.6	404.0	403.9	362.9	18,791	8.78	7.80
九州	403,132	351,730	1335.3	1327.2	301.9	265.0	42,180	9.56	8.34
沖縄	24,963	23,976	136.2	137.3	183.3	174.6	2,276	10.97	10.53
全国	3,642,886	3,368,364	12,776.8	12,777.1	285.1	263.6	377,930	9.64	8.91

複数の周波数区分を利用している無線局は、当該周波数分をカウントしているため、実際の無線局数より多い。

人口は平成17年10月1日、平成19年10月1日現在。面積は平成19年10月1日現在。

各地方局の面積には、管区にまたがる境界未定地域(7,424km²)を含んでいない。

資料：総務省統計局「第五十八回 日本統計年鑑 平成21年」、国土交通省国土地理院「平成19年 全国都道府県市区町村別面積調」